

日米投信概況

世界のインド株ファンド月次流出入(ETFを含む) ～日米でインド株ファンドに純流入、トランプ減税法成立～

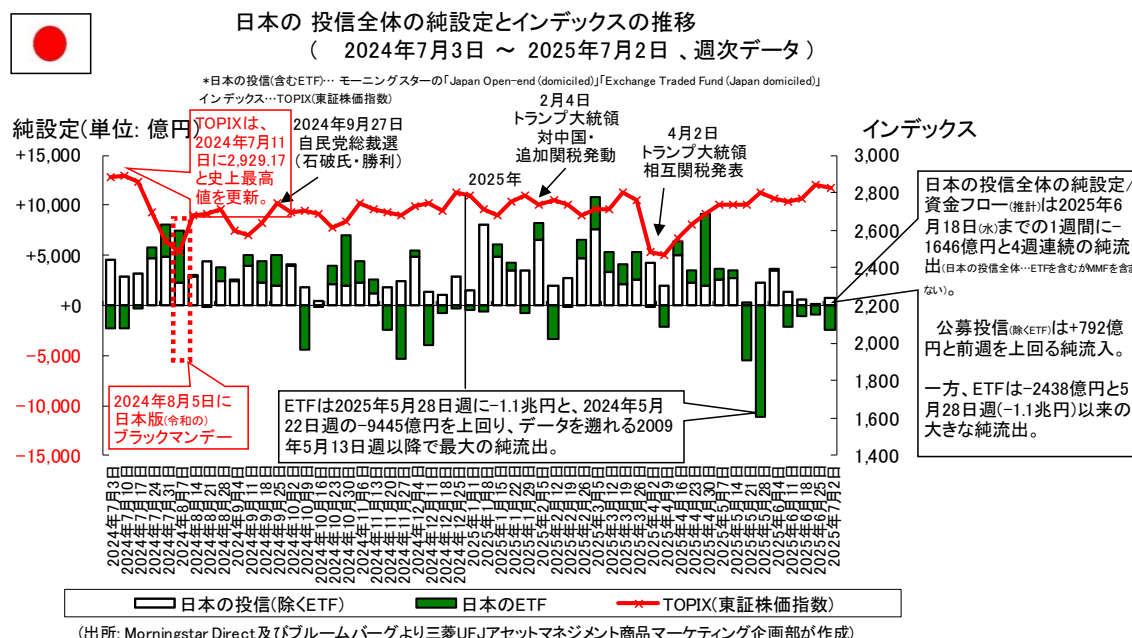
三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)
窪田真美 (mami-kubota@am.mufg.jp)

- 日本籍は単位型(日本株)を含めれば1か月ぶりの純流入！金、欧州株、インド株純流入.....p.1
- 米国籍は米株、社債、オルタナ、ビットコイン、欧州株、インド株純流入(日本株純流出)
～トランプ減税法成立、世界のインド株ファンド純設定/資金フロー(推計)～.....p.3

●日本籍は単位型(日本株)を含めれば1か月ぶりの純流入！金、欧州株、インド株純流入

日本籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計を見ると、2025年7月2日(水)までの1週間に-1,646億円と4週連続の純流出(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。

日本籍公募投信(除くETF)は2025年7月2日(水)までの1週間に+792億円と前週(+4億円～2023年12月末来1年半ぶりの小さな純流入)を上回る純流入。日本籍ETFは2025年7月2日(水)までの1週間に-2,438億円と5月28日週(-1.1兆円)来の大きな純流出で4週連続の純流出。



公募投信(除くETF)の+792億円は追加型のみで、7月2日週は単位型に約1,720億円/3本計の新規設定があり、その内、6月27日の野村証券販売/野村アセットマネジメント設定の単位型「(早期償還条項付)野村ハイベータ日本株2506」は1,523億円と2025年の新規設定国内公募投資信託で最も多かった。6月27日の岡三証券・香川証券・大熊本証券販売/ニッセイアセットマネジメント設定の単位型「ニッセイ・円建てグローバル社債/バランスファンド2025-06」は122億円と2025年の新規設定国内公募投資信託で5番目の大きさだった。

単位型も含めれば、7月2日週の公募投信(除くETF) は+792億円から+2,512億円に増え、1か月ぶりの大きな純流入であった。

日本籍公募投信(除くETF)の7月2日週の純設定額+792億円について分類別に見る。純流入1～3位はグローバル株、グローバル株-日本を除く、商品/コモディティ、9位に欧州株。純流出1～3位は日本株大型グロース、グローバル・特定テーマ/セクター株、トレーディング-レバレッジド/インバース。

ゴールド/金は引き続き堅調な純流入で、7月2日週に+442億円と流入が加速、7月3日・4日も計+76億円の純流入となっている(2025年6月11日週+178億円→6月18日週+350億円→6月25日週+267億円→7月2日+442億円、ゴールド/金については2025年5月12日付投信調査レポートNo.438「世界のゴールド/金ファンド月次動向(ETFを含む)月次流出

入)～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_250512.pdf)o

欧州株も純流入が継続、インド株は7月2日週に+22億円と小幅ながら3週ぶり純流入(欧州株については2025年5月26日付投信調査レポートNo.439

「世界の投資地域別ファンド流出入(含むETF)が示す米国から欧州へ」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_250526.pdf インド株については後述)。



日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2025-07-02現在

***ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 World Equity	+64,533	+49,910	+253,375	21,516,446	グローバル株
	2 World ex-Japan Equity	+48,977	+5,768	+92,570	13,329,326	グローバル株-日本を除く
	3 Commodity	+24,785	+24,482	+85,928	1,593,449	商品
	4 US Equity	+22,322	+1,524	+133,942	25,982,064	米国株
	5 Moderately Aggressive Allocation	+16,322	+5,514	+33,406	4,483,615	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	6 Moderately Conservative Allocation	+16,220	+1,048	+21,656	2,758,506	モデレート・コンサバティブ・アセットアロケーション
	7 Moderate Allocation	+15,395	+2,511	+23,498	4,419,695	モデレート・アセットアロケーション
	8 Conservative Allocation	+8,280	-1,257	+5,730	2,693,341	コンサバティブ・アセットアロケーション
	9 Europe Equity	+6,843	+5,199	+20,804	221,864	欧州株
	10 Aggressive Allocation	+6,438	+5,147	+18,184	777,030	アグレッシブ・アセットアロケーション
下位 10 分類 ↓	21 India Equity	+2,202	-1,508	+2,775	2,869,299	インド株
	74 Other Allocation	-1,636	-1,853	-7,075	638,807	その他アロケーション
	75 World Equity - JPY Hedged	-1,675	-1,868	-8,563	593,901	グローバル株-円ヘッジ
	76 US Equity - JPY Hedged	-2,025	-2,456	-9,354	606,172	米国株-円ヘッジ
	77 Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-2,581	-2,081	-6,925	1,321,463	日本株中小型バリュー
	78 Other Equity	-2,642	+634	-7,241	1,386,114	その他株
	79 Japan Large-Cap Blend Equity	-3,717	-2,748	-6,960	5,264,086	日本株大型ブレンド
	80 Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-5,989	-4,999	-20,477	1,026,698	日本株中小型株グロース
	81 World Specialty Equity	-15,996	-36,568	-98,861	13,159,955	グローバル・特定テーマ/セクター株
	82 Trading - Leveraged/Inverse	-40,195	-5,461	-66,393	659,793	トレーディング-レバレッジド/インバース
	83 Japan Large-Cap Growth Equity	-122,639	-37,992	-222,027	7,235,691	日本株大型グロース
	全83分類の合計	+79,209	+404	+283,418	145,617,064	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+1.70	-0.93	+1.60		
	S&P500	+2.24	+1.87	+4.41		
	MSCI ワールド	+2.22	+1.31	+3.51		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

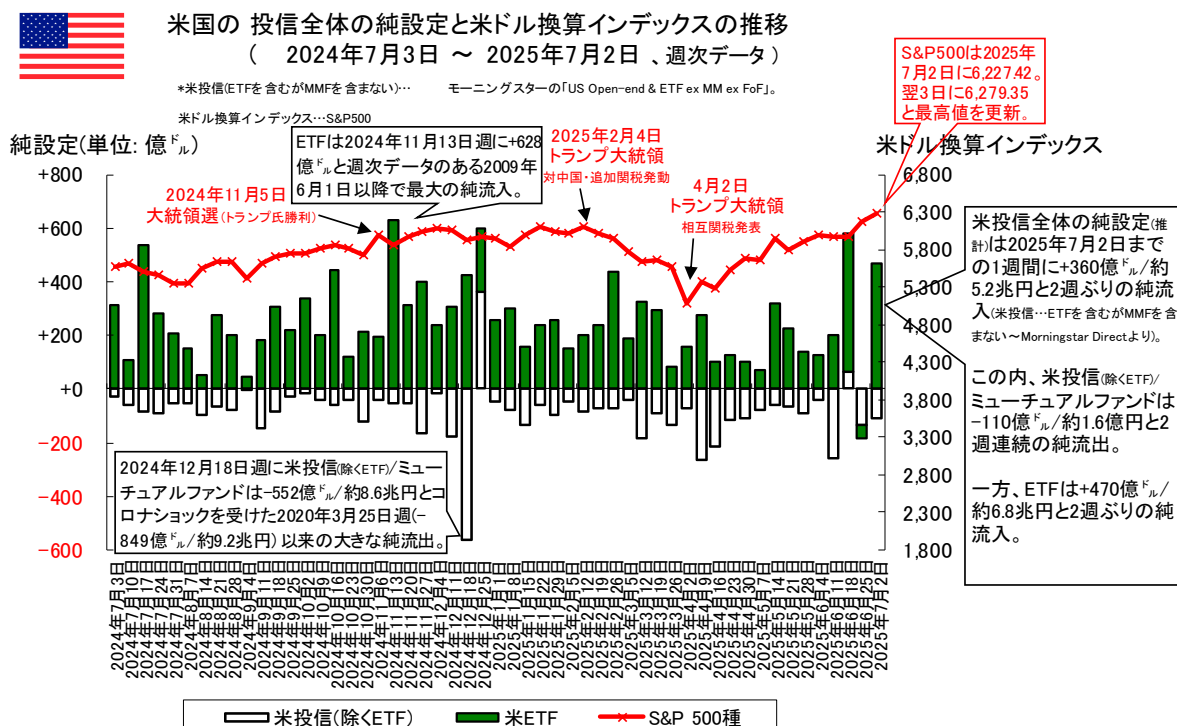
※現地通貨MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数。

●米国籍は米株、社債、オルタナ、ビットコイン、欧州株、インド株純流入(日本株純流出) ～トランプ減税法成立、世界のインド株ファンド純設定/資金フロー(推計)～

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計を見ると、2025年7月2日までの1週間に+360億ドル/約5.2兆円と2週ぶりの純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。

米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは2025年7月2日までの1週間に-110億ドル/約1.6兆円と2週連続の純流出。
米国籍ETFは+470億ドル/約6.8兆円と2週ぶりの純流入(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…

2023年11月27日付日本版ISAの道 その39「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ <https://www.am.fuj.com/report/investigate/column/211127.pdf>)o



(出所: Morningstar Direct 及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2025年7月2日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。

純流入1～3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、社債、デリバティブ・インカム。 **S&P500は2025年7月3日に6,279.35と過去最高値を更新。** 2025年5月22日に米下院が可決した税制・歳出法案「**一つの大きく美しい法案/THE ONE,BIG,BEAUTIFUL BILL/OBBB/BBB**」を2025年7月1日に上院/Senateが賛成51 vs 反対50で可決(賛成にJ・D・バンス/JD Vance副大統領決選票を含む)、2025年7月3日に下院が賛成218 vs 反対214で承認、2025年7月4日にドナルド・トランプ/Donald Trump大統領が署名、成立した(2025年7月7日付投信調査コラムNo.428「トランプ減税法成立、トランプ口座は米国版こども支援NISA? ～米国の529プランとカバードISA、英国のジュニアISA、

日本のジュニアNISAの教育資金口座比較～」 <https://www.am.fuj.com/report/investigate/>)o

純流出1～3位は、外国株大型グロース株、米国長期国債(6年超)、米国中型グロース株。

純流入を詳細に見ると、債券が+113億ドルと純流入加速、米国株が+157億ドルと2週ぶりの純流入。外国株が+19億ドルと4週連続、オルタナティブが+16億ドルと8週連続純流入、**デジタル資産(ビットコイン等)が+14億ドルと9週連続純流入、欧州株が+4億ドルと3週連続純流入、セクター株が+35億ドルと2週ぶりの純流入。** 欧州株もインド株も純流入だが、日本株は純流出。

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2025-07-02現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+17,228	-3,344	+18,874	5,181,193	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Corporate Bond	+2,395	+1,021	+1,309	178,362	社債
3	Derivative Income	+2,001	+975	+5,274	142,470	デリバティブ・インカム
4	Technology	+1,758	-1,771	+2,017	415,695	米国テクノロジー株
5	Intermediate Core-Plus Bond	+1,675	-22	+1,333	631,323	米国中長期コアプラス債
6	High Yield Bond	+1,552	+1,466	+4,482	311,752	米国ハイイールド債
7	Diversified Emerging Mkts	+1,518	+412	+3,710	622,785	グローバル・エマージング株
8	Digital Assets	+1,438	+1,712	+5,806	162,361	デジタル資産(ビットコイン等)
9	Foreign Large Blend	+1,145	+3,842	+10,497	1,240,404	外国大型ブレンド株
10	Short-Term Bond	+1,117	+701	+1,584	365,292	米国短期債
22	Europe Stock	+409	+646	+331	87,533	欧州株
32	India Equity	+246	+275	+719	19,626	インド株
107	Japan Stock	-99	+140	+25	37,310	日本株
120	Commodities Focused	-364	+1,833	+4,881	205,604	商品・フォーカス
121	Moderate Allocation	-440	-398	-1,565	512,944	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)
122	Global Large-Stock Growth	-467	-217	-1,251	286,688	グローバル大型グロース株
123	Inflation-Protected Bond	-577	+722	+13	67,404	米国インフレ連動債
124	Small Growth	-577	-146	-1,484	182,492	米国小型グロース株
125	Small Value	-630	-2,352	-1,632	243,792	米国小型バリュー株
126	Mid-Cap Value	-661	-1,401	-2,559	268,044	米国中型バリュー株
127	Mid-Cap Growth	-897	-2,430	-3,972	327,922	米国中型グロース株
128	Long Government	-905	-441	-2,123	132,863	米国長期国債(6年超)
129	Foreign Large Growth	-1,428	-290	-3,033	354,864	外国株大型グロース株
全129分類の合計		+36,033	-18,581	+69,118	22,432,424	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+1.70	-0.93	+1.60		
S&P500		+2.24	+1.87	+4.41		
MSCI ワールド		+2.22	+1.31	+3.51		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

インド株(ファンド)へ外国投資家の資金が再び流入し始めている。2025年6月26日付日本経済新聞は「世界の株式市場でインド企業の存在感が高まっている。グローバル投資家の投資対象になりやすい100億ドル(約1.5兆円)以上の『メジャーリーグ入り』企業は120社となり、日本(127社)にほぼ並ぶ。高い成長期待から国内外の投資資金をひき付けていることが大きい。…(略)…海外投資家の売買動向を見ると、4~5月は2カ月連続で資金流入超となった。2024年はインド経済の成長鈍化懸念や新興財閥アダニ・グループ会長らの贈賄疑惑から資金を引き上げる動きもあったが、足元で復調の兆しがある。」などと報じている(強調下線は当コラム筆者。2025年6月26日付日本経済新聞「インド株ヒット「メジャー入り」日本株を猛追、海外マネー争奪へ」~

<https://www.livemint.com/market/dia-fund-record-in-3-40-lakh-into-indian-stock-market-in-h1-2025-1175196755373.html>、2024年11月20日にアダニ・グループ会長が数十億ドル規模の贈収賄・詐欺計画に関与した疑いで米検察当局に起訴…2024年12月9日付投信調査レポート

No.429「米国でビットコインETF人気止まらない! 米国ではインド株ファンドが純流出たが、日本では(世界レベルでも)純流入回復」~ https://www.amufj.jp/report/investigate/report_241209.pdf」o

2024年11月20日にアダニ・グループ/Adani Group会長でアジア2位の富豪であるのゴータム・アダニ/Gautam Adani氏はバイデン政権下の米検察当局から贈収賄・詐欺計画に関与した疑いで起訴を発表され、米SEC/証券取引委員会からは民事訴訟を受けている(2024年12月9日付投信調査レポートNo.429 ~ https://www.amufj.jp/report/investigate/report_241209.pdf)o

ただ、2025年1月20日にトランプ政権となったことから、起訴取り下げを米トランプ政権に働きかけており、2025年5月5日付Bloombergはアダニ・グループがトランプ政権と接触していると報じた(2025年5月5日付Bloomberg「Adani Camp Meets Trump Officials in Bid to End Bribery Cases」~ <https://www.bloomberg.com/news/articles/2025-05-05/adani-camp-meets-trump-officials-in-push-to-end-us-bribery-cases>)o。しかし、2025年6月2日付WSJは「アダニ・グループがイランの液化石油ガス/LPGを輸入した疑いで米検察当局から新たな調査を受けている。」と報じた(2025年6月2日付WSJ「Indian Billionaire Gautam

Adani Comes Under New Scrutiny from U.S. Prosecutors」~ <https://www.wsj.com/world/asia/indian-billionaire-gautam-adani-comes-under-new-scrutiny-from-u-s-prosecutors-officials>)o。2025年6月2日付Reutersは「アダニ・グループの広報担当者は2025年6月2日のWSJ報道は『根拠がなく悪意のあるものだ。この件に関して米当局が調査を行っている事は知らない。アダニは、方針として、自社の港ではイランからの貨物を一切取り扱っていない。同社のLPG取引は全て米国の制裁規制を含む国内外の法律に完全に準拠している。』と言った。」(2025年6月2日付Reuters「India's

Adani denies sanctions evasion or Iran LPG trade after WSJ reports US probe」~ <https://www.reuters.com/world/india/indian-billionaire-gautam-adani-comes-under-new-scrutiny-us-prosecutors-wsj-2025-06-02/>)、

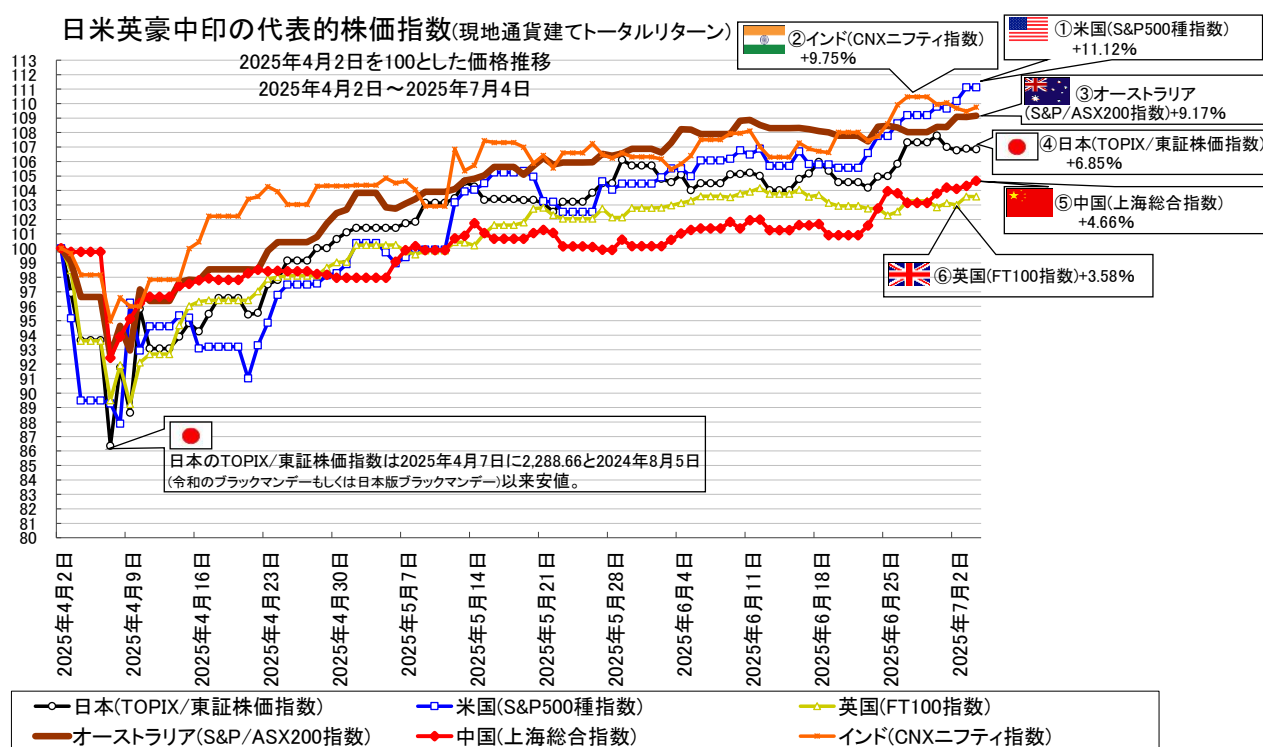
2025年6月25日付Reutersは「アダニ会長は6月24日に同社の年次総会で株主に対し『騒ぎになっているにもかかわらず、事実は、アダニ・グループの誰も米国の海外腐敗行為防止法/FCPA違反や司法妨害の共謀で起訴されていない。嵐や容赦ない監視に直面しても、アダニ・グループは決して後退しなかった』と言った。」と報じている(2025年6月25日付Reuters「Indian billionaire Adani says no one from group charged with US FCPA violation」～ <https://www.reuters.com/world/india/indian-billionaire-adani-says-no-one-group-charged-with-fcpa-violation-2025-06-24/>)。

月25日付Reuters「Indian billionaire Adani says no one from group charged with US FCPA violation」～ <https://www.reuters.com/world/india/indian-billionaire-adani-says-no-one-group-charged-with-fcpa-violation-2025-06-24/>。

2025年4月2日午後4時(日本時間4月3日午前5時)発表の米国トランプ関税後の日米英豪中印の代表的株価指数(現地通貨建てトータルリターン)のパフォーマンス2025年7月4日までを好い順に見る(2025年4月2日発表の相互関税…2025年4月7日付投信調査レポートNo.436～

https://www.ammf.jp/report/investigate/report_250407.pdf、2025年4月21日付投信調査コラムNo.423「米関税でオーストラリアが米中(インド)に代わる投資先?」～ https://www.ammf.jp/report/investigate/column_250421.pdf。米国のパフォーマンスが最も好いが、先述通り、米税制・歳出法案「**一つの大きく美しい法案/THE ONE,BIG,BEAUTIFUL BILL/OBBB/BBB**」を2025年7月1日に上院/Senateが可決、2025年7月3日に下院が承認した事が大きい。

- ①米国(S&P500種指数)+11.12%、②インド(CNXニフティ指数)+9.75%、③オーストラリア(S&P/ASX200指数)+9.17%、
④日本(TOPIX/東証株価指数)+6.85%、⑤中国(上海総合指数)+4.66%、⑥英国(FT100指数)+3.58%。

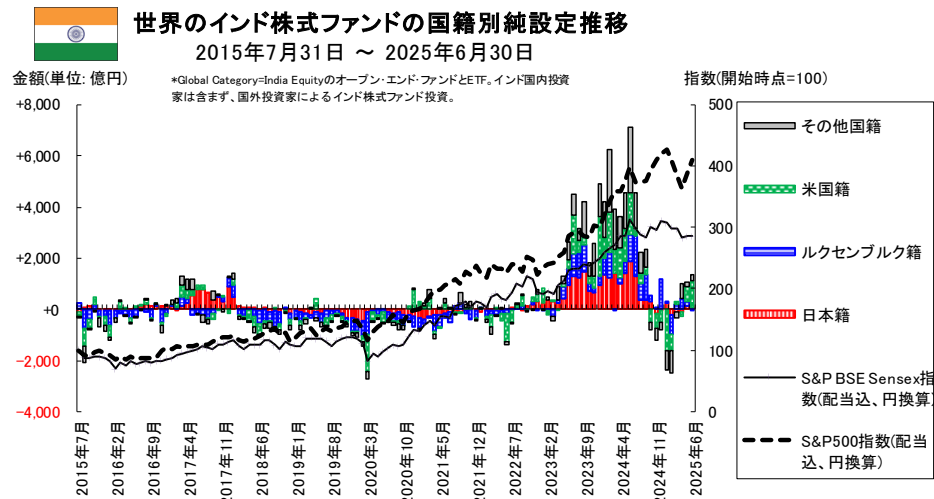


(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

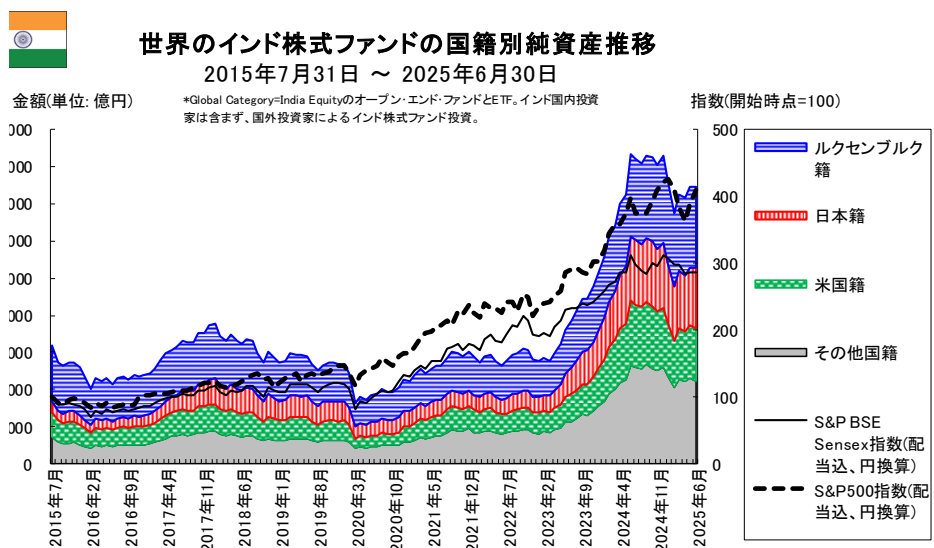
インド国立証券保管機関/National Securities Depository Ltd/NSDLによると、「**外国ポートフォリオ投資家/Foreign Portfolio Investment/FPI(ファンドが多い)**」は、2025年1月～3月にインド株式市場から計-1.2インドルピー/約2.1兆円の純流出だったが、その後、4月～6月は3か月連続の純流入となり、3か月の合計純流入額は3867億インドルピー/約6500億円(NSDL「FPI Investments」～ <https://www.fpiindia.co.in/web/Reports/ReportsListing.aspx>)となっている。

世界のインド株ファンド純設定/資金フロー(推計)についても見る(インド国内投資家分を除く、外国投資家によるインド株式ファンド投資)。2024年6月の+7,100億円をピークに、徐々に流入が減少、10月以降、今年2025年3月まで純流出が続いていた。2025年4月+715億円、5月+1,081億円、6月+1,321億円と再び純流入が増えてきている。ルクセンブルク籍、ついで米国籍が純流入を先行している(2024年5月13日付日本版ISAの道その401「日米印株式ファンドの総経費率を日米比較!世界で人気のインド株ファンドはNISA本家英国でも人気だが、キ

ャビタルゲン税/CGTで総経費率が4～6%台?」～ https://www.ammf.jp/report/investigate/column_240513.pdf、2024年9月17日付投信調査レポートNo.423「インド株ファンドが日本でも米国でも世界的に流入減速!～世界のインド株式ファンドの国籍別純資産・純設定推移」～ https://www.ammf.jp/report/investigate/report_240917.pdf。

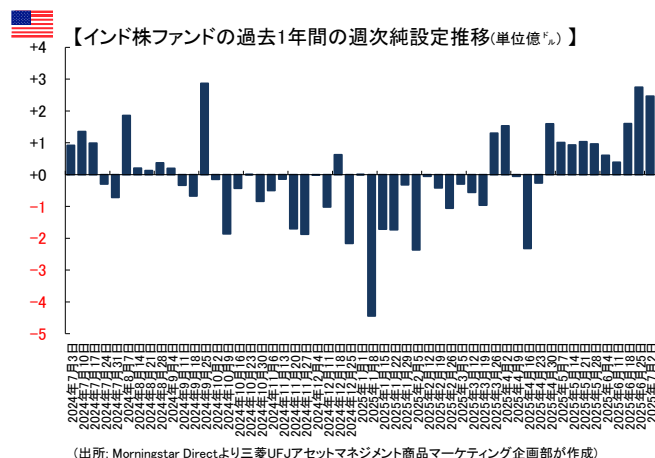


(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が推計・作成)



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が推計・作成)

米国籍インド株ファンド(含むETF)の資金フローを、2025年7月2日までの週次で細かく見ると、昨年に急減して以降、長く流出の期間が続いたが、今年は5月頃から純流入で足元、加速傾向である。



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■日経平均株価に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

■MSCIヨーロッパ・インベスタブル・マーケット・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。“FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。

■S&P/ASX200指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P DJIは、S&P/ASX200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会